

中部ニユース

シネスコ版

道新 197 夏色ビラ - 札幌 - 942 (本編トッパ道地)

高知新 282 本編同V

新愛媛 110

No. 447 37.8.10

甲門新 123 早知ハ新リ - 1412 - 広島 (本編トッパ道地)

一、波打ちぎわで撃退せよ

— コレラ騒動

八月二日、福岡県門司港に台湾から入港した御影丸の乗組員に、十七名のコレラ保菌者のいることが判明しました。福岡県ではコレラ対策本部を設置し乗組員全員を強制隔離するや門司の全市民に予防接種をほどこすなどおこなわれつつあります。

台湾のコレラ発生以後輸入したバナナは荷上げ中止となり、すでに陸上げの分は消毒の後廃棄処分と決定し、約五億五千万円が焼却されました。輸入業者はその補償を国に求めているものの深刻な表情です。街頭のバナナ屋さんもコレラ騒ぎで客足がつかず、ある八百屋さんでは、店頭で「厚生省検定済」というはり紙を出す始末です。又、自分、台湾バナナの輸入は望めず、動物園ではニカゴを残して底をついてしまいました。好物のバナナが食事のお猿さんたちには困ったことになりました。

しかし、日本のコレラ騒動は「水きわ作戦」が功を奏して、大事にいたらず、くい止めたようです。

一、皇太子一家の夏休み

皇太子さまご一家は沼津の御用邸で楽しい夏をお過ごしになっています。

浩宮さまはかわいらしい水着の下から海水パンツをのぞかせてとてもお元気です。

御用邸の庭から海岸へ降りられると、そこいら中のカップパが殺到。真っ黒な裸ん坊たちの歓迎には、ちょっと気味悪そうなお様子でした。

アイモ風土記

一、造船と碁の島

— 因島

風船のとりもつ縁で静岡県水窪小学校河内浦分校の山の子たちは、因島市を訪れました。全国唯一の「一島一市」であるこの因島は、その昔、瀬戸内海に君臨した村上水軍の根拠地——そして、今日では造船工業都市として、月二億円のサラリーが町の台所をうるおしているのです。

一方、農村では造船工業に労働力を吸収されて、婦女子や老人ばかりの苦しい農業が続いています。

この島は造船がなくては、生きてはいけない町なのです。また、因島は、本因坊秀策の出生地であり、非常に碁が盛んで有段者は数十人、愛好者は数千人にも及ぶといわれ、今日も至るところで碁を打つ島の人たちの姿がみられます。

造船の町、碁の町、因島の四泊五日の旅を終えた山の子たちは、楽しく島を去っていきま